

地方創生☆政策アイデアコンテスト2025

「中部経済産業局長賞」表彰式

取材要領

開催日時 : 2025年11月27日(木曜日) 16時00分~17時00分

開催場所 : 中部経済産業局 2階大会議室
(愛知県名古屋市中区三の丸二丁目五番二号)

(1) 受付

- 受付時間 15時30分~16時00分
- 受付場所 中部経済産業局 2階大会議室
- 受付方法 名刺又は身分証の提示をお願いします。
なお、撮影中は、自社腕章を着帯ください。

(2) 事前登録

- 取材を希望される場合は、11月25日(火曜日)16時00分までに、別紙2「取材登録事項」に記載されている事項をメールにてお送りいただき、事前登録をお願いします。
- 事前登録先
中部経済産業局 地域振興・人材政策課
担当 : 冬柴、阿知和、稲垣
電話 : 052-951-8457 (直通)
メール : bzl-tiikishinkouka-gyoumu@meti.go.jp

(3) その他

- 取材関係者のための控え室は用意しておりません。
- 当日の取材にあたっては、会場への入退室、カメラ撮りのタイミングなど係員の指示に従ってください。
- 表彰式では、表彰状の授与の他に、受賞者によるプレゼンテーションを予定しております。

〈別紙 2〉

地方創生☆政策アイデアコンテスト 2025

「 中部経済産業局長賞 」 表彰式

取材登録事項

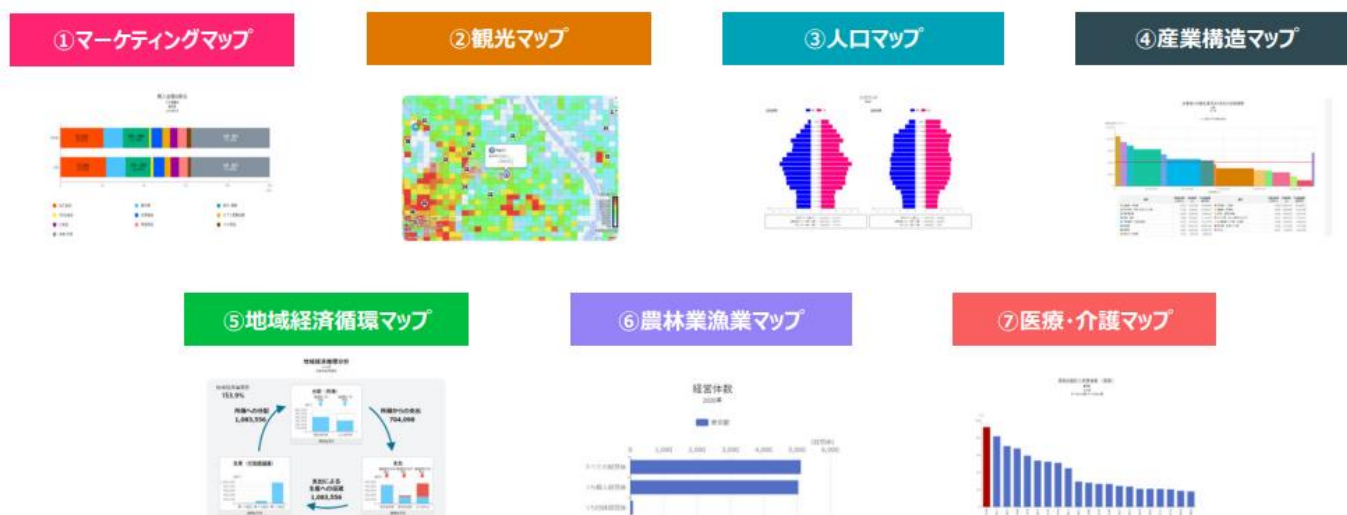
- ① 会社名
- ② 支局名
- ③ 取材者の氏名（ふりがな）
- ④ 属性（記者、ムービー（カメラマン、アシスタント））
- ⑤ 電話番号
- ⑥ メールアドレス

※11月25日（火曜日）16時00分までに、メールにて事前登録をお願いします。

RESAS（地域経済分析システム）の概要

- 地域経済に関する様々なビッグデータ（産業構造、人の流れ、人口動態など）を、地図やグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステム。
- 地方公共団体等における政策立案や様々な取組を情報面・データ面から支援するため、地方創生版・3本の矢の「情報支援」のツールのひとつとして、2015年4月より、内閣官房と経済産業省が連携して提供開始。
- 地域のデータ分析の「入り口」として、地方公共団体職員や、地域の地方創生の担い手によって、地域政策の現場などで幅広く活用されている。

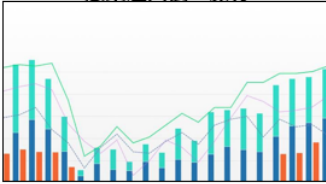
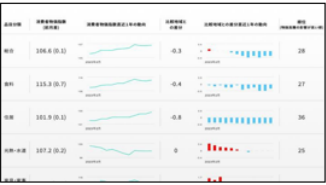

地域経済分析システム（RESAS）マップ一覧



※RESAS サイト (<https://resas.go.jp/>)

RAIDA（地方創生データ分析評価プラットフォーム）の概要

- データにより地域課題を捉え、分析・考慮することをサポートし、施策目標の達成を後押しするプラットフォーム。
- 効果的なデジタル実装施策を支援するために、2024年1月31日より、内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局・地方創生推進室が提供開始。

テーマ	概要	データ項目	使用データ
<p>感染症回復：旅行</p> 	<p>新型コロナウイルス感染症流行後の経済回復状況を理解し、観光需要を刺激する施策の効果を検証するため、日本国内の旅行・観光の消費実態に関するデータを提供。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旅行消費額 旅行者数 都道府県別の動向 都道府県別の国内旅行単価 	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」（四半期更新） 国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査」（四半期更新） 国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」（月次更新）
<p>物価高騰・円安</p> 	<p>地域の物価と消費負担の実態を理解できるよう、物価高騰の影響が特に大きい品目の把握にあたり参考となる関連データを提供。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体像を把握する分析 課題特定に向けた詳細な分析 	<ul style="list-style-type: none"> 総務省「2020年基準消費者物価指数」（月次更新） 総務省統計局「家計調査結果」（月次更新）
<p>デジタル実装</p> 	<p>地方公共団体によるデジタル実装の計画策定や取組を支援するため、全国のデジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の事例を地図や一覧などから確認可能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル実装状況 分野別事業数の比率 全国のデジタル実装事例 	<ul style="list-style-type: none"> 内閣府「デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）交付対象事業」

※RAIDA サイト (<https://raida.go.jp/>)

「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2025」の概要

地方創生についての国民レベルでの関心の高まりを後押しし、地域分析能力向上を図るため、優秀な政策アイデアを提案した個人又は団体を表彰し、地方創生に関する優れた分析例や取組を広く紹介するコンテスト。

〈募集部門〉

- ① 高校生以下の部
- ② 大学生以上一般の部

〈表彰〉

各部門（高校生以下の部、大学生以上一般の部）に基づき、それぞれ地方創生担当大臣賞を2作品、優秀賞を3作品授与。

加えて、地方審査地域ブロックごとに経済産業局長賞・沖縄総合事務局賞を授与。

〈地方審査〉

全国9ブロックで実施。

- ① 北海道（北海道）
- ② 東北（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
- ③ 関東（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県）
- ④ 中部（富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県）
- ⑤ 近畿（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）
- ⑥ 中国（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）
- ⑦ 四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）
- ⑧ 九州（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）
- ⑨ 沖縄（沖縄県）

〈審査のポイント〉

地域の地方創生に資する有効性の高い政策アイデアであること。

RESAS等を活用したデータ分析を行っていること。

地域全体を巻き込んだ構想となっていること。

〈最終審査会〉

日時：2025年12月6日（土曜日）10時00分～17時30分（予定）

開催方法：アキバプラザ 及び オンラインによるハイブリッド開催

(会場：東京都千代田区神田練塀町 3)

※最終審査会進出作品は、「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2025」

HP に掲載 (<https://contest.resas-portal.go.jp/>)

地方創生☆政策アイデアコンテスト 2025
「中部経済産業局長賞」受賞者の政策アイデアの概要

【高校生以下の部】

所属・個人名/ チーム名	愛知県立猿投農林高等学校 作庭チーム SAKUR☆
政策アイデアの タイトル	造園という武器で持続可能なまちづくり ～将来世代の地方創生～
政策アイデアの 対象自治体	愛知県豊田市
政策アイデアの 概要	愛知県豊田市小原地区の過疎化と地場産業である採石業の衰退を背景に観光と産業を両立させるアイデアを提案。廃棄石材を造園資材としてブランド化し地元資材の価値創出、新たな観光地として堀削跡地への地場の石材を使用した庭園の作庭・公園化に取り組む。さらに、四季桜の繁殖による新名所創出や「ガーデンツーリズム」登録を目指し、地域資源を活かした持続可能なまちづくりを推進することで、雇用創出・関係人口増加・移住促進を図る。

【大学生以上一般の部】

所属・個人名/ チーム名	三重県創生研鑽会
政策アイデアの タイトル	釣って、泊まって、味わって 鳥羽で広がる釣りスタイル
政策アイデアの 対象自治体	三重県鳥羽市答志島
政策アイデアの 概要	鳥羽市答志島に空き家が集中している現状と釣り人の来訪が年間通して多いことに着目し、釣り人向けの「現代版・木賃宿」の提供を提案。釣った魚を宿泊費の一部に充当できる仕組みや、地元漁師による料理教室・干物づくり体験などを組み合わせ、「釣り×食×文化交流」の新しい観光スタイルを創出し、釣り人だけでなく、家族連れなどの新たな宿泊客も呼び込むことで、空き家問題の解決と地域活性化を同時に目指す。